

RemoteViewBOX 2

ユーザーガイド

Version 1.0.0

Date 2025.09

お知らせ

Copyright © RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

本マニュアルは、製品の検証を行った内容に基づいて作成していますが、製品のアップデートなどを行った場合、実際の動作と異なる場合があります。

なお、マニュアルの内容は性能向上および機能改善などのために予告なしに変更される場合があります。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権は RSUPPORT CO., Ltd.が所有し、国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。

RSUPPORT CO., Ltd.の事前書面同意なしに本マニュアルの一部、あるいは全体の内容が無断でコピー、複製、転載なさらぬようお願い申し上げます。

本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権保護を受けている用語は引用のために使用しています。

目次

1. RemoteViewBOX の概要	5
1.1. RemoteViewBOX とは？	5
1.2. RemoteViewBOX の特徴	5
1.3. パッケージ内容の確認	6
1.4. 機器の仕様	6
1.5. 各部の名称と役割	7
1.6. LED ステータスランプの状態について	7
1.7. 使用環境	7
2. 初期設定	8
2.1. デバイス設定準備	8
2.2. RemoteView 会員登録	8
2.3. ネットワーク設定方法①：DHCP 環境	9
2.3.1. IP アドレスを検索する	9
2.4. ネットワーク設定方法②：固定 IP・DHCP 環境	11
2.4.1. IP アドレスを設定する	11
2.5. 設定ページへログインする	14
2.5.1. RemoteView アカウントとデバイス連携を行う	14
2.6. ネットワーク設定を確認する	15
2.6.1. プロキシサーバ設定	15
2.6.2. WOL（Wake On Lan）で電源起動設定	15
2.7. RemoteViewBOX を接続先デバイスと接続する	17
3. RemoteViewBOX 設定ページについて	18
3.1. デバイス管理	18
3.1.1. デバイス情報	18
3.1.2. デバイスの再起動	19
3.1.3. デバイスの初期化	19
3.1.4. Agent 削除	19
3.2. ネットワーク設定	20
3.3. ファームウェア更新	21
3.4. ログ確認	21
4. 遠隔接続方法	23

5. ビューアの機能	25
5.1. ツールバー	25
5.1.1. R: (メニュー)	25
5.1.2. 制御.....	29
5.1.3. 画面.....	30
5.1.4. ツール.....	32
5.1.5. 追加.....	35
6. 初期化	36
7. 注意事項.....	37
8. お問い合わせ	39

1. RemoteViewBOX の概要

1.1. RemoteViewBOX とは？

RemoteViewBOX 機器と接続されているデバイスを、RemoteView サービスを通じてリアルタイムで遠隔制御できるサービスです。

1.2. RemoteViewBOX の特徴

・ リアルタイムでのデバイス操作

RemoteViewBOX が接続された接続先デバイスのキーボード、画面、マウスをリアルタイムで制御できます。

・ 4K 解像度に対応

接続先デバイスの画面を 4K の画質で途切れることなくリアルタイムで確認できます。

・ Wake-On-Lan 機能に対応

電源がオフになっているデバイスも RemoteViewBOX に内蔵された WOL（Wake-On-Lan）機能を利用して遠隔でオンにすることができます。

・ ライブビュー

管理者画面で複数のデバイスをリアルタイムでモニタリングすることができます。

・ ファイル送受信

RemoteViewBOX 内に USB ストレージがあり、ファイルの送受信と保存ができます。

・ 一括管理

複数のデバイスを web ページ (www.rview.com) で、一括管理できます。

1.3. パッケージ内容の確認



RemoteViewBOX



LAN ケーブル



HDMI ケーブル



USB2.0 ケーブル Type-A



AC アダプタ



クイックガイド

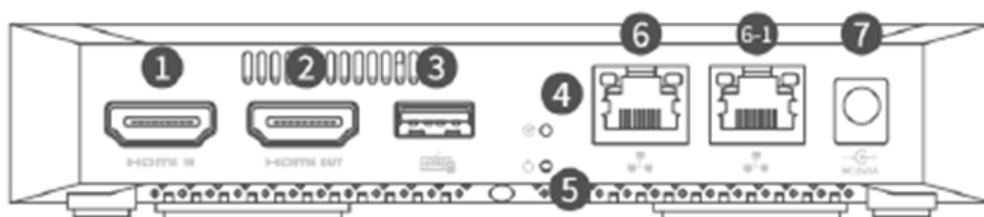
- ① RemoteViewBOX : 本体
- ② LAN ケーブル(1m) : インターネットに接続するケーブル
- ③ HDMI ケーブル(1.5m) : PC とモニターを接続するケーブル
- ④ USB2.0 ケーブル Type-A(1m) : デバイス接続用ケーブル
- ⑤ AC アダプタ : 電源に接続するアダプタ
- ⑥ クイックガイド

1.4. 機器の仕様

材質		ポリカーボネート、シリコン
重量		166g
サイズ		177.8 x 70.3 x 35.5(mm)
コネクタ	映像入力	1 x HDMI 2.0
	映像出力	1 x HDMI 2.0
	USB ポート	1 x USB2.0 Type-A
	イーサネットポート	2 x RJ-45,10/100base-T
	電源ケーブル	1 x DC Jack
解像度		720p(min) ~ 4k(max)
オーディオサンプリング		OPUS
CPU		32bit Arm Processor
OS		Linux
消費電力		DC12V / 1A,12W(MAX)
推奨環境	動作温度	0~40℃
	保管温度	-20 ~ 60℃
	湿度	0 ~ 80% RH(不凝縮)

1.5. 各部の名称と役割

■ 側面



- ① PC to HDMI ポート：接続先 PC と映像・サウンドを HDMI ケーブルで接続する
- ② Monitor to HDMI ポート：接続先 PC の映像・サウンドをローカルモニターに出力する
- ③ USB 2.0 ケーブル Type-A ポート：キーボード/マウスの信号、ファイル送受信のためのケーブルポート
- ④ LED ステータス表示ライト：RemoteViewBOX の状態を表示する LED ランプ
- ⑤ リセットボタン：デバイスをリセットする
- ⑥ LAN ポート：ネットワークに接続する（6-1 も同様）
- ⑦ 電源接続ポート：電源接続ケーブルポート

1.6. LED ステータスランプの状態について

状態	ランプ表示
電源 ON	白いランプが早く 3 回点滅が数回繰り返される
デバイス初期化中	青 10 回以上点滅→ピンク 10 回程点滅、 その後オレンジ色にゆっくり点滅後デバイスが再起動
IP アドレス取得中	ピンクのランプが素早く点滅
IP アドレス設定完了	ピンクのランプが 1 秒間隔で 3 回点滅
IP アドレス取得失敗	赤いランプが 3 回点滅
遠隔接続中	緑のランプが 3 回点滅したあと、点灯状態を維持
WOL 電源起動中	青いランプが 3 回点滅
通常	青いランプが常時点灯
デバイス初期状態 / 異常発生時	1 秒間隔でオレンジのランプが点灯を繰り返す

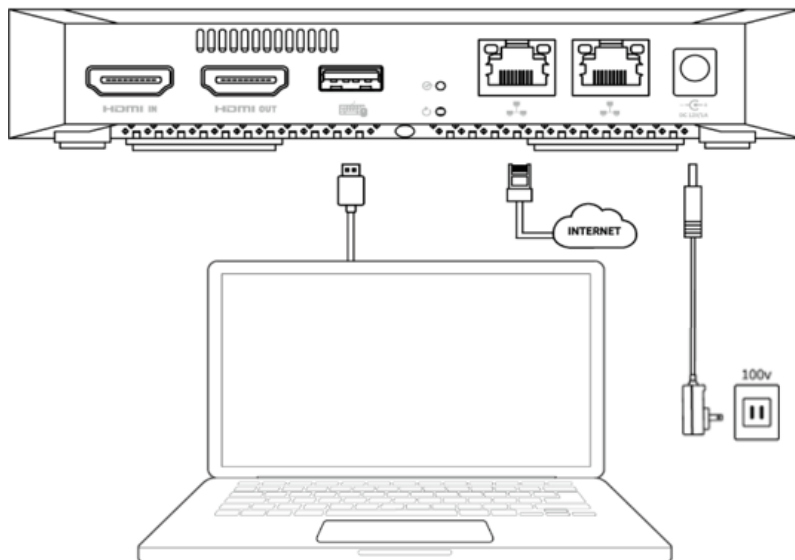
1.7. 使用環境

使用環境については下記 Helpdesk ページをご確認ください。

<https://help.rview.com/hc/ja/articles/21873150755347>

2. 初期設定

2.1. デバイス設定準備



- ① LAN ケーブルを RemoteViewBOX デバイスの LAN ポートとインターネット LAN ポートへ接続します。
- ② RemoteViewBOX の電源ポートに電源ケーブルを接続します。
- ③ RemoteViewBOX に同梱されている USB 2.0 ケーブル Type-A で、RemoteViewBOX とパソコンを接続します。

※RemoteViewBOX デバイスと USB ケーブルで接続する PC は同一ネットワークでの接続が必要です。

2.2. RemoteView 会員登録

※RemoteView アカウントをすでにお持ちの場合は、そのまま次にお進みください。

RemoteViewを無料でお試しいただけます

14日間全ての機能が使えるアカウントを作成できます。
お試し終了後、自動課金されることはありません。
トライアル中の設定情報を本契約にすべて引き継ぐことも可能です。

✔ 14日間の無料トライアル ✔ 機能制限無し ✔ 遠隔地デバイスを10台まで登録可能

認証メールを送信

- ① 会員登録ページ (<https://content.rview.com/ja/trial/>) に接続します。
- ② メールアドレスを入力しメール認証を行います。

- ③ 認証完了後、必要情報を入力し、同意事項項目にチェックし登録を完了させてください。

※設定した会員情報は RemoteViewBOX の設定時、

遠隔接続時に必要となりますので情報は忘れないよう管理してください。

2.3. ネットワーク設定方法①：DHCP 環境

RemoteViewBOX は、DHCP・固定 IP アドレスなど、利用環境に応じてネットワーク設定を行えます。

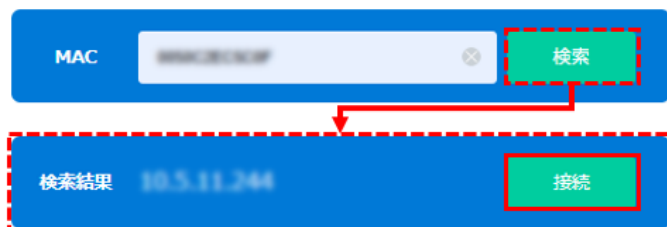
ネットワーク利用状況によってデバイス設定方法が異なりますので、接続先 PC のネットワーク状況に合わせて設定を行ってください。

※固定 IP アドレス環境の場合は、「[2.3 ネットワーク設定方法②：固定 IP・DHCP 環境](#)」へお進みください。

接続先が DHCP 環境の場合、RemoteViewBOX に有線 LAN を接続するだけで IP アドレスが自動設定されます。

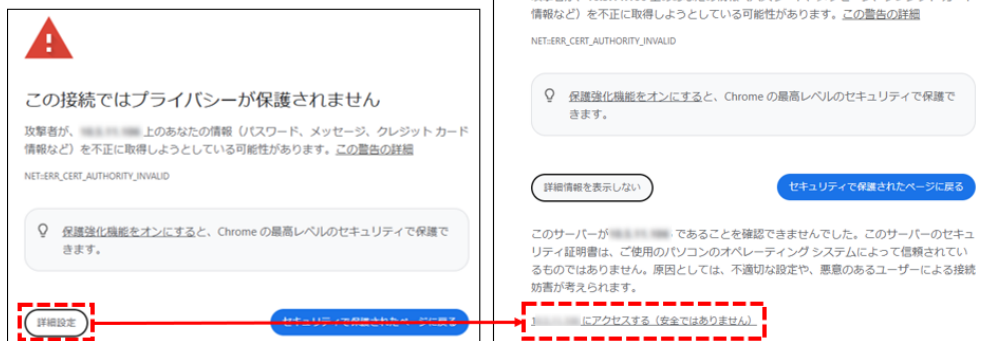
2.3.1. IP アドレスを検索する

- ① RemoteViewBOX 本体の底面にある「MAC アドレス」を確認します。
- ② 接続先 PC でブラウザを開いてデバイス設定ページ (box.rview.com) に接続します。
- ③ 右側メニューから「[設定サイトへの接続](#)」を選択します。
- ④ MAC アドレス入力欄に上記①の「MAC アドレス」を入力して「検索」をクリックし、IP アドレスが表示されたら「接続」をクリックします。



※IP アドレスが表示されない場合、機器を再起動(電源ケーブルを抜き差し)して再実行してください。

- ⑤ 「この接続ではプライバシーが保護されません」と表示されたら「詳細設定」をクリックし「(IP アドレス)にアクセスする(安全ではありません)」をクリックし設定ページに移動してください。



⑥ 「2.5. 設定ページへログインする」へ進んでください。

2.4. ネットワーク設定方法②：固定 IP・DHCP 環境

ネットワークに接続できている PC とデバイスを USB 2.0 ケーブル Type-A で接続しネットワーク情報を読み込み、デバイスの設定を行います。

固定 IP、DHCP 環境どちらの環境でも設定可能です。

2.4.1. IP アドレスを設定する

- ① RemoteViewBOXガイドページ「[1.ネットワーク設定](#)」に接続します。



- ② 「②シリアルポート接続」の「シリアルポート接続」ボタンをクリックしてください。

※Chrome ブラウザにて実行してください。

シリアルポート接続

- ③ シリアルポート接続ウィンドウが表示されたら[COM#CDC Serial]ポートを選択し、[接続]ボタンをクリックします。



誤って[キャンセル]をクリックした場合は最初からやり直してください。

※ご利用環境によっては表記が異なる場合がございます(例：CDC Serial(COM#) 等)。

「シリアルポート接続」ボタンが図のように「シリアルポート接続切断」に切り替われば、接続完了です。



- ④ 「ネットワーク情報」を確認しご利用環境に合わせてネットワーク設定を行ってください。

【DHCP環境の場合】

「デバイスのIPアドレスの割り当て」が「自動」に選択されているかご確認いただき、ネットワーク情報が正常に入力されているか確認し「適用」をクリックしてください。

【固定IP環境の場合】

「デバイスのIPアドレスの割り当て」が「手動」が選択され、ネットワーク情報が修正できるようになります。

ご利用環境のネットワーク情報を全て入力して「適用」をクリックしてください。

※設定中にデバイスと接続しているPCと同一のネットワーク情報を入力して下さい。

※「適用」前の状態で一定時間経過するとシリアルポート接続が切断されることがあります。
その際には②のボタン「シリアルポート接続切断」をクリックし接続を切断した上で最初から実行してください。

- ⑤ ネットワーク情報が正しく適用されるまでしばらくお待ちください。



- ⑥ 「この接続ではプライバシーが保護されません」と表示されたら「詳細設定」をクリックし「(IPアドレス)にアクセスする(安全ではありません)」をクリックし設定ページに移動してください。



2.5. 設定ページへログインする

デバイスの初期ログインアカウント情報を入力し、「ログイン」をクリックします。

The screenshot shows the 'RemoteViewBOX設定ページ' (RemoteViewBOX Setup Page). It features input fields for 'ID' and 'パスワード' (Password), a checkbox for 'IDを保存' (Save ID), and a blue 'ログイン' (Login) button. A red dashed box highlights the login button. A callout box on the right provides the initial login information:

- ※初期ログインアカウント情報
- ID : admin
- パスワード : 11111111

2.5.1. RemoteView アカウントとデバイス連携を行う

- ① 設定ページへログイン後「遠隔接続サイトアカウント連携」ページが表示されます。

RemoteViewサービスのアカウント情報(※)を入力し、「次へ」をクリックします。

※会社 ID、管理者 ID、パスワード

※アカウント情報お忘れの際は購入先へお問い合わせください。

The screenshot shows the '遠隔接続サイトアカウント連携' (RemoteView Account Linking) page. It includes a header with instructions, radio buttons for 'SaaS' (selected) and 'Server 製品', a '接続URL' (Connection URL) field with 'https://rview.com', and input fields for '会社ID' (Company ID), 'ユーザID' (User ID), and 'パスワード' (Password). A red dashed box highlights these three input fields. At the bottom, there is a blue '次へ' (Next) button. A small disclaimer at the bottom states that RemoteView Box is used for RemoteView services and that users agree to the terms of service.

- ② 以下の内容を入力し、「次へ」をクリックします。
- ・登録情報：RemoteView ページ上に表示させるデバイス名
 - ・アクセス情報の設定：Agent ID、パスワード
- ※アクセス情報は遠隔接続の際に必要ですので、必ずお控えください。
- ※アクセス情報の設定ルール
- Agent ID：4～24 文字の英数字
(英数字のみ設定可)
 - パスワード：6～24 文字の大小英字、数字、記号

デバイス登録

登録情報

デバイス名 *

入力必須項目です。

アクセス情報の設定

デバイス制御時に使用するユーザ名とパスワードを設定してください。

Agent ID *

パスワード *

パスワードの確認 *

USB接続モード設定

メモリデバイス機能を使用

USBメモリデバイス使用モード

※ 登録情報を設定して続けるボタンをクリックすると、再起動しデバイス登録が完了します。

次へ

- ③ 「設定完了」画面が表示されたら連携完了です。

2.6. ネットワーク設定を確認する

ご利用環境にあわせてプロキシサーバー情報の登録や WOL 設定を予め設定してください。

2.6.1. プロキシサーバ設定

- ① 設定ページの上部メニューから「ネットワーク設定」をクリックします。
- ② イーサネット（または、Wi-Fi）タブを開き、「プロキシサーバを使用」を有効にします。
- ③ プロキシ情報を記入してください。
- ※「*」が付いている項目は必須入力項目です。
- ④ 「次へ」をクリックして設定を完了してください。

プロキシサーバを使用

プロキシサーバIPアドレス *

プロキシサーバポート *

プロキシのユーザー名

プロキシのパスワード

WOLで電源起動を使用

NTPサーバー手動設定

現在時刻 2025-09-13 14:55:10

次へ

2.6.2. WOL (Wake On Lan) で電源起動設定

「WOLで電源起動」機能とは？

接続先にある電源オフ状態の PC を手元から電源オンにする機能です。

【 注意事項 】

- ・ RemoteViewBOX を利用して WOL 電源起動機能を使用するには、接続先の PC やネットワーク環境が WOL に対応している必要があります。

- ・接続先 PC の WOL 設定は、RemoteWOL ガイドページ (wol.rview.com) のダウンロードタブにある「WOL 設定ガイド」をご参照ください。
(WOL の対応有無や詳細については、メーカーや販売元にご確認ください。)
- ・ファイアウォールで UDP 9 番ポートを利用した Magic Packet を許可する必要があります。

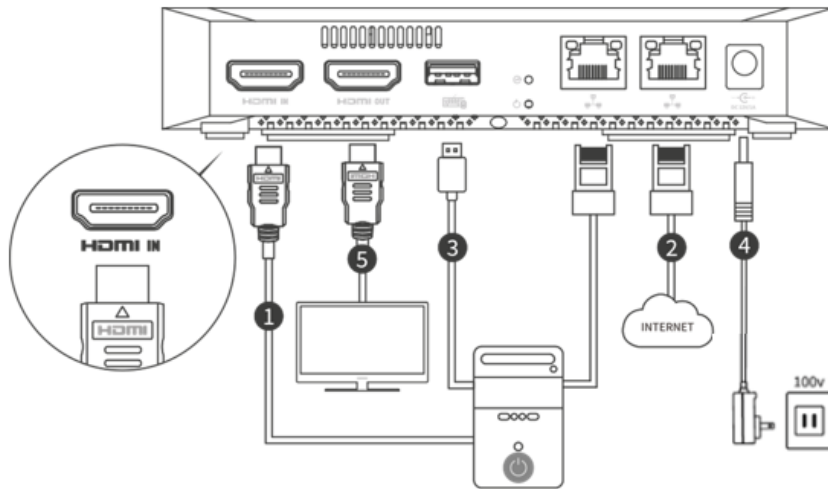
【 WOL で電源起動機能の設定方法 】

- ① 上部メニューから「ネットワーク設定」をクリックします。
- ② 使用中のネットワークタブを開き、
「WOLで電源起動を使用」を有効にします。
- ③ 電源起動したい接続先PCのIPアドレス、
またはMACアドレスを入力します。
- ④ 「次へ」をクリックして設定を完了します。

【 トラブルシューティング 】

下記のメッセージが表示された場合、RemoteWOL ガイドページ (wol.rview.com) のダウンロードタブにある「WOL 設定ガイド」をご参照ください。

2.7. RemoteViewBOX を接続先デバイスと接続する



- ① HDMI ポート：デバイスの HDMI ポートと接続先デバイスを繋ぎます。
- ② LAN ポート：ハブの LAN ケーブルをデバイスの LAN ポートに接続します。
※LAN ポートはどちらに接続しても問題ありません。
- ③ USB ケーブル：デバイスと接続先デバイス双方に接続します。
- ④ 電源ケーブル：電源ポートに電源ケーブルを差し込みます。
- ⑤ HDMI Monitor：接続先デバイスの画面をモニターに出力したい場合、モニターとデバイスを HDMI ケーブルで繋ぎます。
※オプション項目です。

3. RemoteViewBOX 設定ページについて

ネットワーク設定の変更、デバイス情報の確認やファームウェア更新を行います。

【接続方法】

下記のどちらかの方法で接続後、ログインをしてください。

- ・ RemoteViewBOX へ振り分けた IP アドレスをブラウザのアドレスバーに直接入力する
- ・ RemoteViewBOX の Guide ページの「[設定サイトへの接続](#)」より MAC アドレスを入力し設定されている IP アドレスを検索し「検索結果」より接続する

※設定ページへの接続は RemoteViewBOX と同一セグメント環境で行ってください。

※RemoteViewBOX デバイスがログイン状態になっている必要があります。

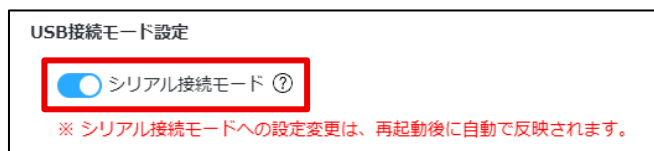
3.1. デバイス管理



3.1.1. デバイス情報

RemoteViewBOX の登録情報、直近の使用履歴が確認できます。

- ・ シリアル接続モード

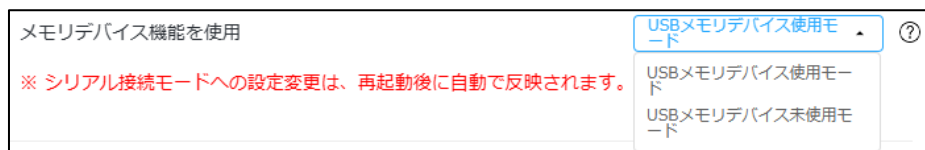


ネットワークを再設定する際に「シリアル接続モード」をオンにすると、

box.rview.com よりシリアルポートを使用してネットワークを再設定することができます。

※シリアルポート設定の手順については「[2.3. ネットワーク設定方法②：固定 IP・DHCP 環境](#)」をご参照ください。

・メモリデバイス機能



USB メモリデバイス機能使用モードに設定すると、ファイル送受信機能が使用できます。

デフォルト値：オン

3.1.2. デバイスの再起動

RemoteViewBOX の再起動を行います。

※RemoteView アカウントの認証(管理者ログイン情報)が必要です。

3.1.3. デバイスの初期化

デバイスの初期化を行います。

※RemoteView アカウントの認証(管理者ログイン情報)が必要です。

※デバイスの初期化を実施するとネットワーク情報、デバイス設定情報、RemoteView サービス連携すべてリセットされますのでご注意ください。

3.1.4. Agent 削除

デバイス情報はそのままに、RemoteView アカウントとの連携を解除します。

※RemoteView アカウントの認証(管理者ログイン情報)が必要です。

3.2. ネットワーク設定

デバイスのネットワーク情報の変更や WOL 設定ができます。

ネットワーク設定 ファームウェア更新 ログ

ネットワーク設定

☐ 自動DHCP

ポート * ⓘ

デバイスのIPアドレス *

サブネットマスク *

デフォルトゲートウェイ *

プライマリDNSサーバ *

セカンダリDNSサーバ

手動でネットワークを変更する場合は「自動 DHCP」をオフにしてネットワークを修正してください。

※ プロキシサーバー、WOL 設定については「[2.6. ネットワーク設定](#)」をご参照ください。

3.3. ファームウェア更新

ファームウェアのアップデートを行います。

ファームウェアの更新が必要な場合はアップデートのお知らせが表示されます。

ファームウェア更新

サービスの品質と安全性向上のため、ファームウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
*サーバー製品の場合は、RSUPPORTの技術部までお問い合わせください。

ファームウェアのバージョン	現在のファームウェアバージョン 1.0.7 最新のファームウェアバージョン 1.0.9
---------------	--

[ファームウェアファイル](#)をダウンロードして、ファイルをアップロードしてください。②

[ファームウェア更新方法]

- ① 「ファームウェアファイル」をクリックし、最新ファームウェアファイルをダウンロードします。
- ② 「ファームウェアファイルのアップロード」をクリックし、ダウンロードしたファイルを選択します。
- ③ 「アップデート」をクリックすると、ファームウェアがアップデートされます。

デバイスが再起動し、『最新バージョンです。』と表示されれば完了です。

ファームウェアのバージョン	最新バージョンです。 現在のファームウェアバージョン 1.0.9 最新のファームウェアバージョン 1.0.9
---------------	--

3.4. ログ確認

RemoteViewBOX 管理ページの上部メニュー「ログ」から利用履歴を確認できます。

遠隔接続開始・終了などのログの確認や、データのダウンロードをすることができます。

※ ログのダウンロードデータについて

ダウンロードしたログデータ(enc ファイル)は主に弊社側にて解析をする用途に主に使用されます。

そのためユーザー側では確認が難しいデータとなりますこと予めご了承ください。

動作不良発生時にはログデータを取得し、弊社までご提供いただきますようお願いいたします。

RemoteViewBOX

デバイス管理 ネットワーク設定 ファームウェア更新 ログ ログアウト

戻る

RVBOX 1021 のログ

ダウンロード ログ削除 2022.10.21. - 2022.10.21.

期間日時	内容
2022-10-21 16:03:07	画面操作終了
2022-10-21 16:02:47	システム・リモート・コントロール要求 [IP:10.5.11.143/User.admin]
2022-10-21 16:02:47	画面操作開始
2022-10-21 15:59:40	Agent 自動アップデート要請
2022-10-21 15:59:37	Session Connect Try [ssip17.rview.com]
2022-10-21 15:59:37	Agent ログイン完了 [ssip17.rview.com]
2022-10-21 15:59:36	Agent Login : [https://rview.com]
2022-10-21 15:59:18	Agent Login : [https://rview.com]

Page 1

4. 遠隔接続方法

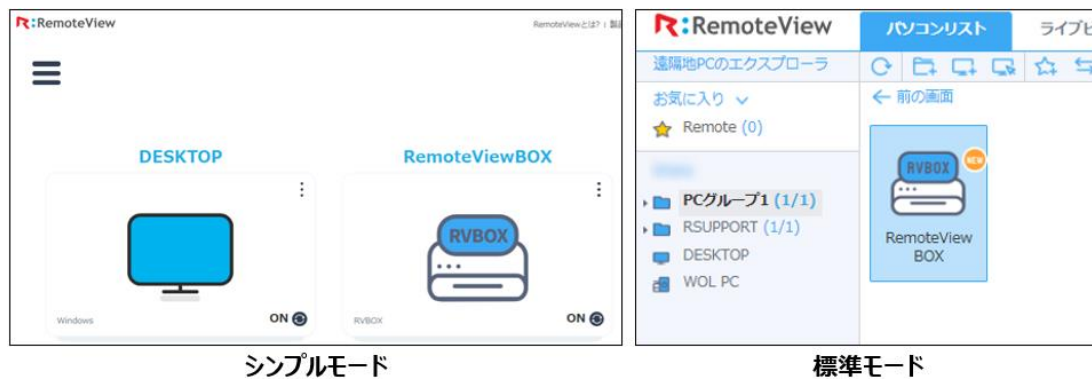
- ① サービスページ（rview.com）にログインします。

※必須ログイン情報：会社 ID、ユーザー ID、パスワード

※ログイン情報をお忘れの場合、購入元にお問い合わせください。

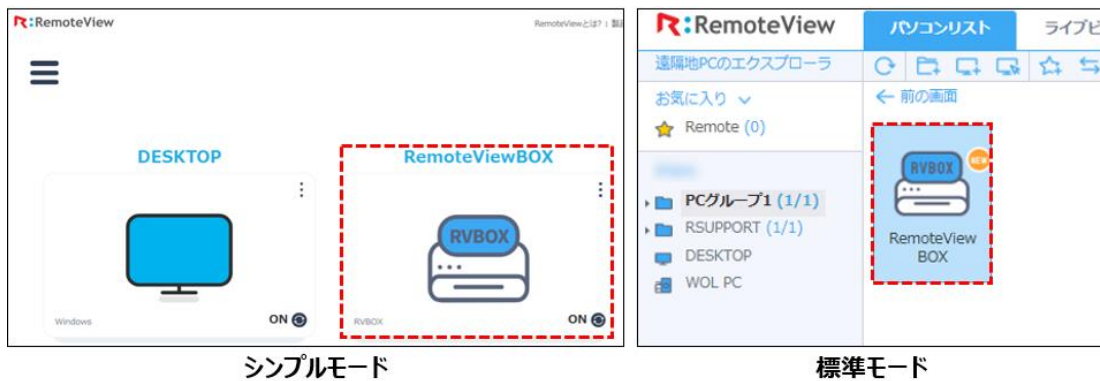
- ② ログインすると、パソコンリストが表示されます。

※表示モードが分かれています。任意の表示モードでご利用ください。

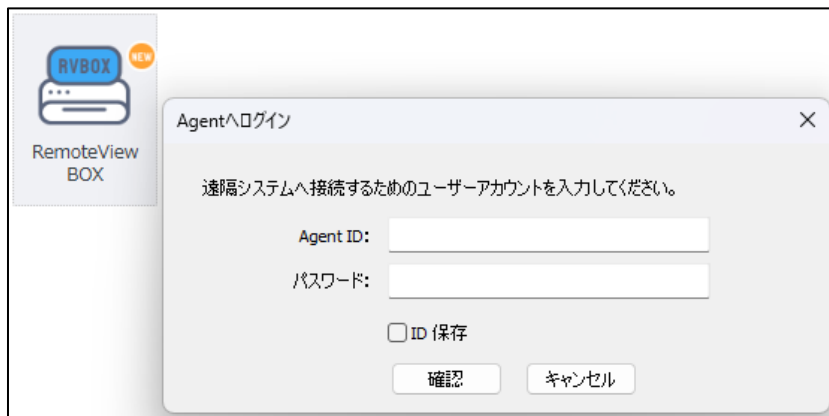


- ③ 各表示モードから遠隔接続を開始します。

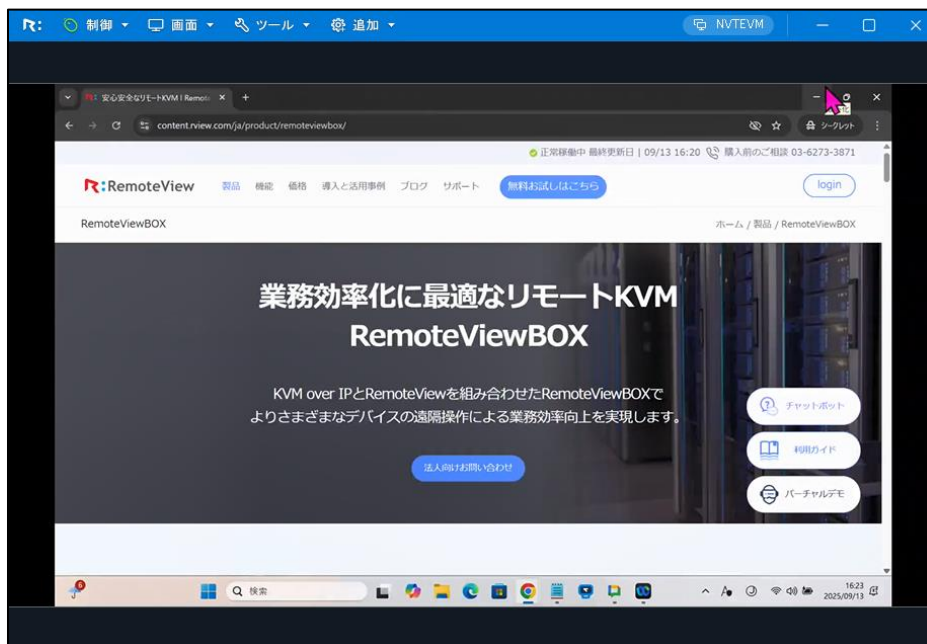
- ・シンプルモード：RemoteViewBOX アイコンを選択（左クリック） / 「：」 > 「RX ビューア」 選択
- ・標準モード：RemoteViewBOX アイコンをダブルクリック / 右クリック > 「RX ビューア」 選択



- ④ 「Agent へログイン」のポップが表示されたら、「Agent ID」と「パスワード」を入力します。
 ※Agent ID/パスワードは、「2.5.1.RemoteView アカウントとデバイス連携を行う」で設定したアクセス情報です。



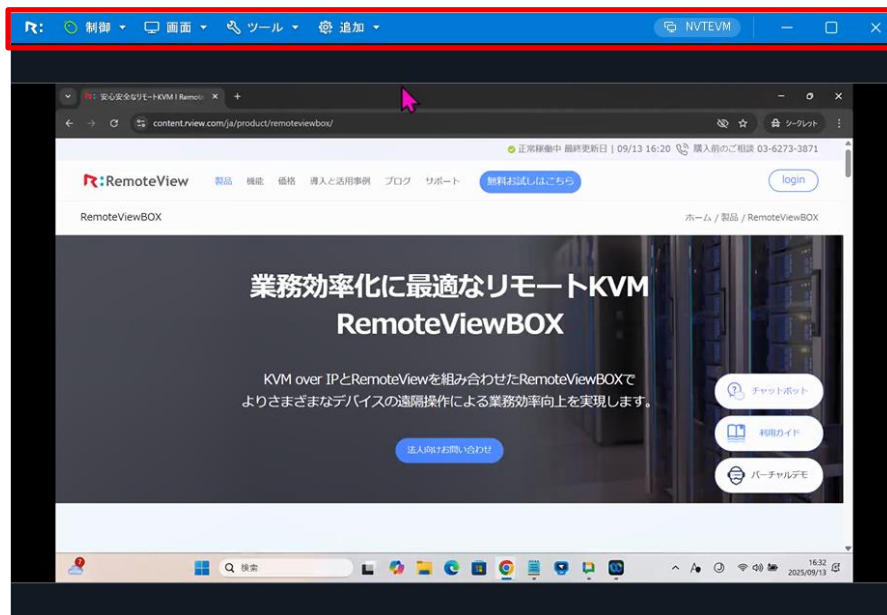
- ⑤ 接続先 PC の画面が表示されたら、完了です。



5. ビューアの機能

遠隔接続を行うと、下記のようにビューアが立ち上がります。

ツールバー



5.1. ツールバー

5.1.1. R: (メニュー)



【環境設定】

[制御]



・制御品質

画面のフレームレートを調整して画質を変更します。

※ネットワーク状況により自動的に変動します。

(高 : 最大 30fps、中 : 最大 20fps、低 : 最大 7fps)

デフォルト値 : 中(推奨)

・タイプ

RemoteViewBOX 制御時、このメニューから使用するキーボードタイプを設定することができます。

(Windows・Windows XP・XP1 以下・macOS・Linux GUI・Linux CLI)

デフォルト値 : Windows

・相対座標/移動速度

相対座標使用時、マウスの移動速度の調節ができます。

※Android OS 基板のキオスク等の制御時に適しています。

デフォルト値 : オフ

[画面]



・映像品質

ビューア画面の品質を設定します。

(動画優先・テキスト優先)

※テキスト優先を選択した場合、CPU 使用率が高くなり、操作が重くなる可能性があります。

デフォルト値 : 動画優先

・ハードウェアデコーダ

手元 PC のハードウェアアクセラレーション処理を有効・無効に切り替える設定です。

接続先 PC 画面の乱れや、ビューア画面が映らない事象が発生した際、設定の切り替えを実行してください。

デフォルト値 : オン

- ・自動スクロール

画面の枠にマウスカーソルを当てると、接続先 PC の画面が自動でスクロールします。

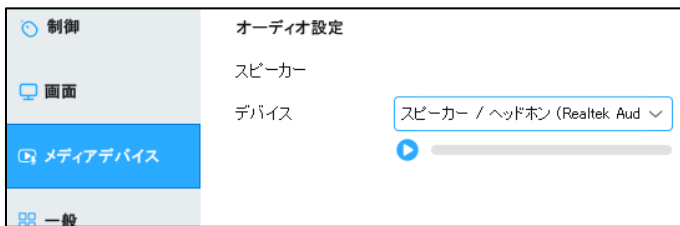
デフォルト値：オフ

- ・(解像度)自動調整

接続先 PC のモニター解像度を、手元 PC の解像度に自動調整、もしくは任意の解像度に設定する機能です。

デフォルト値：使用しない

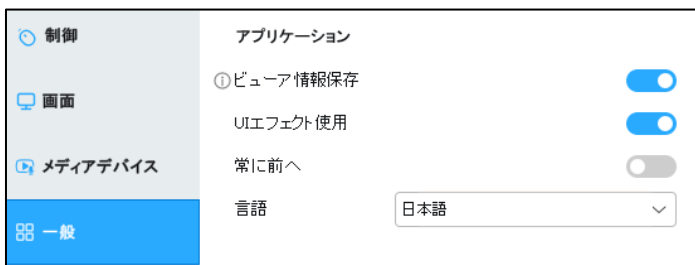
[メディアデバイス]



- ・オーディオ設定

接続先 PC のスピーカーを手元 PC に共有することでサウンドの共有が可能になります。

[一般]



- ・ビューア情報保存

現在のビューア設定を、次回の遠隔接続時に引きつぐことができます。

※保存する画面情報：ビューア位置、ビューアサイズ、リアルサイズ、自動調整、全画面表示、遠隔接続開始時に自動で立ち上げるマルチビューアのモニター番号と台数

デフォルト値：オン

- ・UI エフェクト使用

オンにすることで画面変化がスムーズになります。

デフォルト値：オン

- ・常に前へ

ビューア画面を常に手元 PC 画面の最前へ固定します。

デフォルト値：オフ

- ・ 言語

遠隔画面内の機能名の言語設定を選択できます。

(日本語・韓国語・英語・中国語(簡体)・中国語(繁体))

[情報]

制御	情報
画面	バージョン情報 1.25.3.10
メディアデバイス	ビルド日付 2025-08-19
一般	Open Source License 詳細を見る
情報	

- ・ バージョン情報

ビューアのバージョン情報です。

- ・ ビルド日付

ビューアモジュールのビルド日付です。

- ・ ライセンス情報

RemoteView に使用されたオープンソースライセンス情報を確認できます。

「詳細を見る」ボタンを押下すると、下記ヘルプデスクが開きます。

<https://help.rview.com/hc/en-us/articles/20794062471699>

【常に前へ】

ビューア画面を常に手元 PC 画面の最前へ固定します。

【ビューア画面ロック】



ビューア画面にパスワードロックをかける機能です。

ロック解除には遠隔接続時のパスワードを入力します。

※離席中などに画面露出を防ぐために使用します。

※下記認証方法で遠隔接続を行う場合にご利用いただけます。

- ・ AgentID/パスワード

【遠隔制御ステータス情報】



接続先 PC のステータス情報（Agent 名、モニター解像度、制御時間、OS 情報）を確認します。

※OS 情報は RemoteViewBOX として認識されるため「Linux」と表示されます。

【接続終了】

遠隔接続を終了します。

5.1.2. 制御



【マウス/キーボード制御】

接続先 PC のマウス/キーボードを、手元 PC のマウス/キーボードで制御できます。

【Ctrl+Alt+Del キー転送】

Ctrl+Alt+Del キーは手元キーボードから直接入力すると、
接続先デバイスに反映されないため該当機能をご利用ください。

5.1.3. 画面



【モニター選択】

ビューアに表示するモニターを選択できます。

【遠隔画面ロック】

遠隔接続中に接続先 PC のモニターを黒く表示する機能です。

※RemoteViewBOX 本体のモニター出力用ポート「HDMI OUT」に接続されているモニターのみ画面ロックが可能です。

【ナビゲータ】



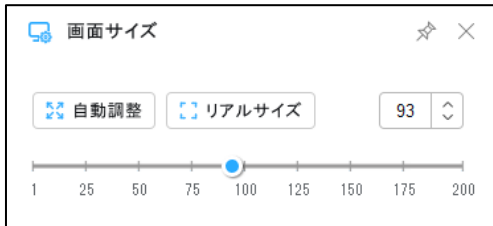
ナビゲータ ビューア画面の右上にナビゲータを表示します。

ビューアを拡大してビューア画面の一部を確認する際にお勧めします。

- ① 透明度：ナビゲータと透明度を調整します。
- ② 閉じる：ナビゲータを終了します。
- ③ 全体画面：ナビゲータの画面サイズに合わせて接続先 PC の画面の大きさを調整します。
- ④ リアルサイズ：ナビゲータ上の接続先 PC 画面をリアルサイズで拡大します。
- ⑤ ズーム：ナビゲータ上の接続先 PC の画面を任意で拡大できます。

※デフォルト値：オフ

【画面サイズ】



接続先 PC の画面を拡大できます。

- ・自動調整：ビューア画面サイズに合わせて接続先デバイスの画面の大きさを自動的に調整します。
- ・リアルサイズ：接続先デバイスの実際の画面の大きさをビューアに表示します。
- ・比率入力欄/比率調整バー：直接数字を入力、上下ボタン、調整バーで比率を調整します。（1～200）

【自動調整】

ビューア画面サイズに合わせて接続先 PC の画面の大きさを自動的に調整します。

デフォルト値：オン

【リアルサイズ】

接続先デバイスの実際の画面の大きさをビューアに表示します。

デフォルト値：オフ

【全画面表示】

手元 PC のモニター全画面に接続先 PC の画面を表示します。

全画面表示中、ツールバーは非表示になり、画面上部をマウスオーバーすると表示されます。



5.1.4. ツール



【ファイル送受信】

手元と接続先のデバイス間でファイルの送受信ができます。

※RemoteViewBOX を「USB メモリデバイス機能使用モード」に設定してください。

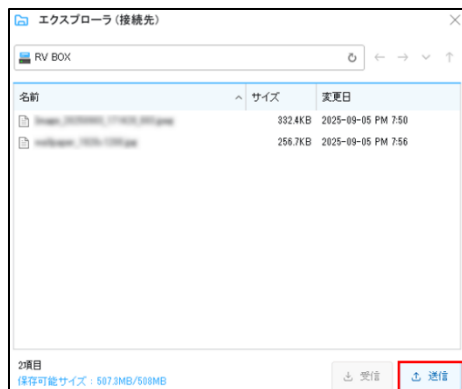
設定方法は「3.1. デバイス管理」>「[3.1.1. デバイス情報](#)」をご参照ください。

※管理者がファイル送受信を許可していない場合は、使用できません。

[ファイル送信方法]

- ① ファイル送受信> エクスプローラが開いたら「送信」を選択します。

※ファイル送信が許可されていない場合はボタンがグレーアウトしています。

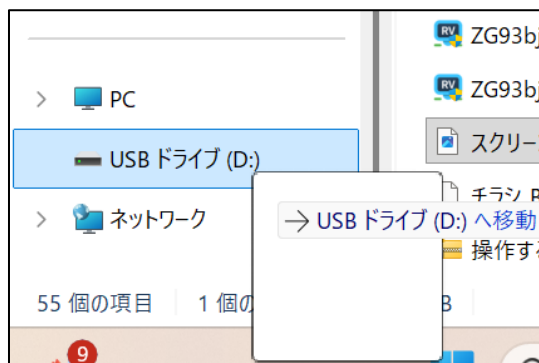


- ② 手元側のエクスプローラが開いたら送信したいファイルを選択し、「開く」をクリックすると送信が開始します。

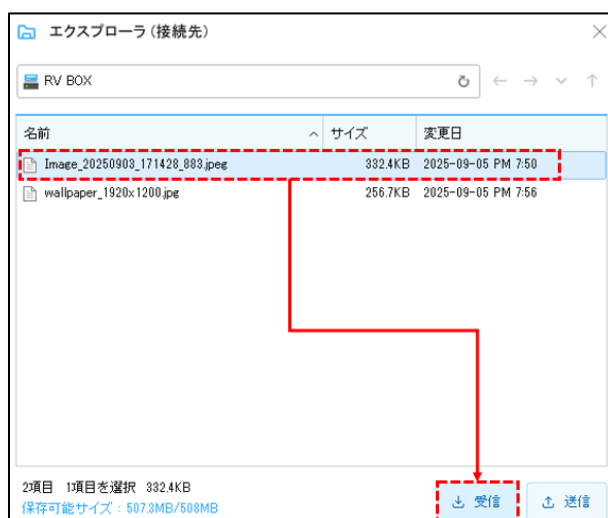
※送信されたファイルは RemoteViewBOX 内のドライブ (D:¥) に格納されます。

[ファイル受信方法]

- ① 接続先デバイスから手元にファイルを受信する場合は、RemoteViewBOX 内のドライブに受信したいファイルが存在している必要があります。
必要なファイルは予めドライブ (D:¥) ヘコピーもしくは移動をしてください。

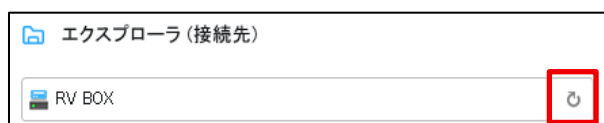


- ② ファイル送受信> エクスプローラが開いたら受信したいファイルを選択し「受信」を選択します。



※フォルダ内が空、受信したいファイルが見つからない場合、情報が更新されていない可能性があります。

情報更新を行ってください。



- ③ 受信したファイルは手元の下記フォルダパスに保存されます。
C:¥Users¥Public¥Documents¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

【受信フォルダを開く】

「ファイル送受信」機能から「ファイル受信」をする際のフォルダが開きます。

※管理者がファイル受信を許可していない場合は、グレイアウトしています。

フォルダパス：

C:¥Users¥Public¥Documents¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

【画面保存】

該当ボタンをクリックするとビューアのキャプチャが実行されます。

※キャプチャ権限を付与されていない場合は使用できません。

キャプチャした画面は下記のフォルダパスに保存されます。

C:\¥Users¥Public¥Documents¥Rsupport¥RemoteView¥Captured Files

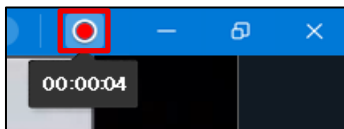
【録画】

遠隔制御画面が録画されます。

※録画権限が付与されていない場合は使用できません。

録画の終了時は再度「録画」項目をクリックするか、

ビューア右上の録画中マークをクリックしてください。録画が終了し、データが保存されます。



録画データは下記のフォルダパスに保存されます。

C:\¥Users¥Public¥Documents¥Rsupport¥RemoteView¥Recorded Files

【サウンド共有】

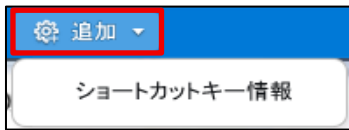
接続先 PC のサウンドを仮想スピーカーを利用して手元 PC に共有します。

デフォルト：オン

※管理者権限でデフォルト値をオフに変更することもできます。

環境設定> 共通・セキュリティ設定> サウンド共有デフォルト設定

5.1.5. 追加



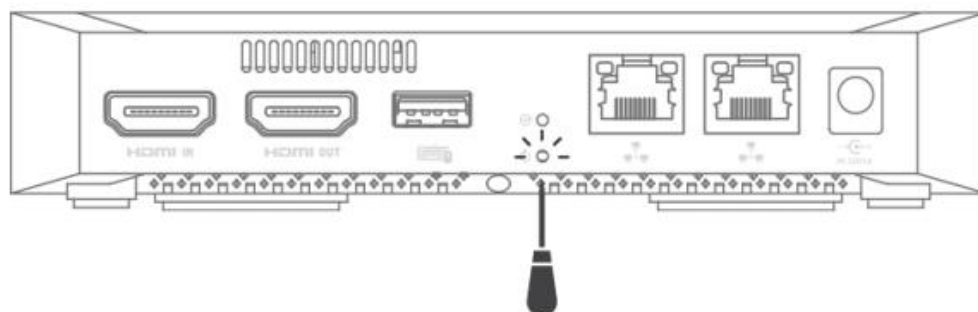
【ショートカットキー情報】

遠隔接続時に利用できるショートカットキー一覧です。

ダブルクリック、または機能選択後に Enter キーで一覧の動作を実行できます。



6. 初期化



リセットボタンを先の細いもので 10 秒ほど押し続けてください。

青 10 回以上点滅した後にピンク 10 回程点滅、その後オレンジ色にゆっくり点滅後にデバイスが再起動します。

再起動後、LED が白いランプ点滅→オレンジ色で点滅している状態に切り替わったら初期化完了です。

設定ページからも初期化ができます。

設定ページでの初期化方法は「[3.1.3. デバイスの初期化](#)」をご参照ください。

※デバイスの初期化を実施するとネットワーク情報、デバイス設定情報、RemoteView サービス連携すべてリセットされますのでご注意ください。

7. 注意事項

<本製品を安全にご利用いただくために、必ずお守りください>

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

万が一、製品が故障(異常も含む)または破損した場合は、速やかに本製品の利用を中止し、販売元へご連絡ください。

- 電源は AC100V(50/60Hz)を使用してください。

記載と異なる電圧・電流でのご使用は、発煙、感電、火災、製品の誤作動や故障などの原因になります。

- 記載されている推奨環境内で本製品をご使用ください。
- 本製品を分解、改造しないでください。感電、火災、製品の誤作動、故障などの原因となります。
- 火気や熱器具に近付けたり、加熱しないでください。
- 必ず付属の AC アダプタやケーブルを使用してください。
- 長時間使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- AC アダプタを抜くときは必ずプラグを持ってください。
- AC アダプタを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- AC アダプタを接続した状態で機器を移動しないでください。
- 本体の取り付け口やケーブル等に異物が付着した場合、直に取り除いてください。

そのまま使用すると、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因になります。

- AC アダプタを壁やラックなどの間、保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上では使用しないでください。
- 本製品を重ねて設置しないでください。本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
- 本製品を濡らしたり、近くに液体が入った容器を置かないでください。
- 本製品を濡れた手で触らないでください。感電の危険性があります。
- 本製品に触れる際は事前に指輪、腕時計などの装身具を外してください。
- AC アダプタにほこりが付着していないことを確認し、コンセントに根元までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全のままやプラグにほこり等がたまると、火災の原因になります。
- 本製品と AC アダプタは、雷サージなどの雷対策をしていません。雷防護対策済み電源タップなどのご利用をお勧めします。

- 雷が発生しているときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。落雷による感電の原因になります。
- 製品から煙が出たり、臭いがしたり、液体や異物などが内部に入った場合、直ちにコンセントから AC アダプタを抜いてください。
- 本製品を次のような場所で使用や保管しないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所 ・ 温度変化の激しい場所 ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所や不安定な場所 ・ 静電気が多く発生する場所
 - ・ 油煙や湯気があたる場所 ・ 壁の中などお手入れが不可能な場所
 - ・ 腐食性ガスの発生する場所 ・ 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
 - ・ エレベータ近くなど電圧の変化がある場所
- 本製品を落としたり衝撃を与えないでください。本製品の誤作動、故障の原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- お手入れの際は以下にご注意ください。
 - ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に触れ、静電気が発生しないようにしてください。
- 人が通る場所に配線しないでください。足が引っ掛かり、ケガの原因となります。
- 目的外利用による情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

RoHS に基づく基本方針

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、RSUPPORT Co., Ltd.では、EU(欧州連合)の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

8. お問い合わせ

本マニュアルにつきましてご不明な点がございましたら、
ご購入先又はオンラインヘルプデスクへお問い合わせください。

- ・製品ヘルプデスク

<https://help.rview.com>

- ・オンラインヘルプデスクお問い合わせ

<https://help.rview.com/hc/ja/requests/new>